

# リサイクル市の報告



当日は掘り出し物がたくさん!

登録人数：401人（計画400人）

登録率：8.3%

回収総量：1.8トン

登録数に対する提供者率：52%

一次仕分けボランティア参加者：44人（計画80人）

当日来場者数：56人・員外14人（計画150人・員外50人）



JFSA も出店しました

## コンテナ積み作業参加報告



50kg に圧縮された衣類

6月20日(水)、JFSA 海外衣料支援センター(千葉市)にてパキスタンへ輸出される衣類のコンテナ積み作業が行われました。ボランティア参加者は約60人。50kg ごとに圧縮された衣類を、汗だくになりながら手作業で運び出し、12m のコンテナ1台(約24t)分を積み込みました。私たちの活動が大勢の参加によって成り立っているのだと改めて実感しました。



コンテナ1台分 約24トン!

JFSA スタッフの皆さんと交流する機会にもなり、また、現地の子どもたちの4割弱しか学校に通えていない現状も知りました。私たちが送る衣類によって、子どもたちが学校に行くことができ、読み書きができるようになることは、貧しさから抜け出していく力になります。それに対し、日本国内で殆どの古着が廃棄されている現状は、あまりにももったいない話です。私たちは未だに大量消費の生活から抜け出せていません。

今後、ファイバーリサイクルの取り組みにおいて、多くの組合員と一緒に JFSA の活動と“古着のゆくえ”に対する理解を深めていきたいと思えます。

JFSA って?

貧困で教育を受けられない子供たちのためにパキスタンのスラムの学校運営を支援するアル・カイル事業グループと連帯して、古着のリサイクルを行っています。収益はスラムの子供たちの為の学校、アル・カイルアカデミーの運営を支える資金として活用されます。

現在、学校の運営費の約4割を古着事業の収益で賄っています。JFSA では年間約90トンの古着を日本全国から集め、その内やく70トンのパキスタンへ輸出し残り20トンは国内で販売し、JFSA の活動を支える資金（倉庫の家賃やスタッフの person 費、パキスタンへの派遣費用など）として活用しています。